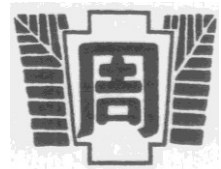


# 周陽中学校 コミュニティ・スクール便り



No. 2 平成 27 年 9 月 28 日 「周陽中学校コミュニティ・スクール事務局」発行

## 小中合同学校運営協議会開催

～周陽中学校区の子どもたちの  
豊かな学びと育ちをめざして～

小中連携教育の一環として、8月5日に周陽中校区小中合同学校運営協議会を周南市保健センター多目的ホールで開催しました。昨年度に続いて2回目の開催となります。参加者は周陽中学校・桜木小学校・周陽小学校・遠石小学校の全教員とそれぞれの学校運営協議会委員（計112名）です。



### 1. 目的

周陽中学校区の子どもたちの豊かな学びと育ちをめざして、学校・家庭・地域が連携・協働するために、現状の把握及びこれまでの成果と課題を共有するとともに、今後の教育活動について協議する。

### 2. 協議事項

山口CSコンダクター 布施 安浩様による講話「やまぐち型地域連携教育及び周南市小中連携コミュニティ・スクール」の後、熟議（グループワーク）を行いました。

全体をA：環境活動支援部会、B：学習活動支援部会、C：健全育成支援部会の3部会に分け、さらにそれぞれの部会を6、7人の16グループに分けて協議を行いました。



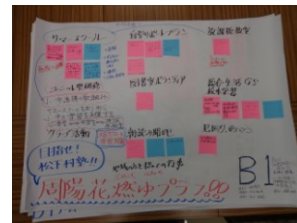
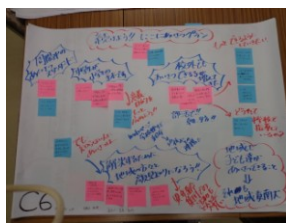
### 3. 具体的な内容

(ア) 各部会において、今までの取組について小中連携の視点で見直し、地域と一緒に進めていく上での成果と課題について考える。

(イ) グループワークIで出た成果と課題について共有し、今年度以降、実践していく上での留意事項等を話し合い、まとめる。

全く新しい取組を考えるよりも、今までやってきた取組を小中連携の視点で見直し、大きな負担なく継続して実践できそうな取組についてまとめよう、という視点で話し合いを行いました。

### 4. 結果



紙面の関係ですべては載せられませんが、一例を示します。

#### ○成果

C 健 全 育 成 支 援 部 会	6 班	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち止まってあいさつするようになった。</li> <li>中学生が小学生の登校時にあいさつすることがよい。</li> <li>部活動している生徒のあいさつがよい。</li> <li>にこにこあいさつプランという柱があることがよい。</li> <li>校外で出会ってもきちんと挨拶ができる。</li> </ul>
---	--------	--

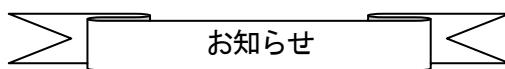
#### ○課題

	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標、評価項目がしっかりあるとわかりやすい。</li> <li>なぜ、中学生があいさつに来るのか小学生がわかっていない。</li> <li>知らない人に挨拶されてもあいさつを返すことができないようだ。</li> <li>1対1や校外であいさつできないときがある。</li> <li>部活動の指導の影響で部によって差がある。</li> </ul>
--	---

#### ○キーワードとして記載されていたもの

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○続けよう！にこにこあいさつプラン</li> <li>○中学生が小学生の手本です。</li> <li>○校外でもあいさつできる子が増えてきた。</li> <li>○解決するために、地域の方々顔見知りになろう。</li> <li>○地域で子どもたちがあいさつできること。それも地域貢献。</li> </ul>
--	--

ここで話し合った内容は9月30日に行われる第2回学校運営協議会でさらに具体的に話し合われます。



以下の日程で2回目の活動を行います。

11月18日(水) にこにこあいさつプラン

11月24日(火) 25日(水) 自学サポートプラン

